



Neb:o

TurnPit **F** One Hand Turn

ターンピット エフ ワンハンドターン

取扱説明書

身長

40~150cm

保証書付き



i-Size 準拠



ISOFIX

R129/04

i-Size 汎用型 ISOFIX/i-Size ブースターシート

40~150cm



目次

■ 目次	2
■ ご使用いただく前に	4
▪ 表示について	4
■ 安全にご使用いただくために	5
■ 取付けできる座席	7
■ シートベルトの条件	8
■ 取付けできない座席	9
■ 梱包内容	10
■ 各部の名称	11
■ チャイルドシートの移動時の持ちかた	12
■ お子さまの身長に合わせた使用方法	13
■ ISOFIX での取付け方法	14
▪ 取付ける前の準備	14
▪ サポートレッグの取出し方法	14
▪ ISOFIX の取付け方法	15
▪ サポートレッグの設置・調節方法	17
▪ チェックリスト	18
■ 車両からの取外し方法	19
▪ ISOFIX の取外し方法	19
▪ サポートレッグの収納方法	20
■ リクライニングの操作方法	20
■ シートの回転方法	22
■ バックルの取付け・取外し方法	23
■ インナークッション	24
▪ インナークッションの各部の名称	24
▪ インナークッションの取外し方法	24
■ ハーネスの調整方法	25
▪ ハーネスをゆるめる方法	25
▪ ハーネスをしめる方法	25
■ ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安	26
▪ 肩ベルト位置の目安	26
■ ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40 ～ 105cm まで」	27
▪ お子さまを乗せる前の準備	27
▪ お子さまを乗せかた	28
▪ 肩ベルトの高さ	29
▪ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	30
▪ シートの回転	30
▪ 走行前のチェックリスト	31

■ チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 76 ~ 105cm まで」	32
▪ お子さまを乗せる前の準備	32
▪ お子さまの乗せかた	32
▪ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	34
▪ シートの回転	34
▪ 走行前のチェックリスト	36
■ ジュニアシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 100 ~ 150cm まで」	37
▪ 車両への取付け方法	37
▪ ジュニアシートモードへの準備	38
◦ 肩ベルト・バックルの収納	38
▪ ジュニアシートモード (ISOFIX+車両シートベルトまたは車両シートベルトのみ)	42
◦ お子さまを乗せる前の準備	42
◦ お子さまの乗せかた	43
▪ 走行前のチェックリスト	44
■ シートカバーの取外し方法	45
■ シートカバーの取付け方法	48
■ インナークッションの取付け方法	48
■ お手入れ方法	48
▪ 本体	48
▪ 各シートカバーの洗濯方法	48
▪ インナークッション	49
◦ 洗濯方法	49
■ 製品情報	50
▪ 本体サイズ	50
▪ 材質	50
■ 保管方法	50
■ 破棄方法	50
■ 保証書	

ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート TurnPit F-One Hand Turn〈ターンピット エフ ワンハンドターン〉」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。

お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットで大切に保管してください。

・本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R129/04 に適合しており、身長 40cm ～ 150cm くらいまで(目安：新生児～年齢 12 歳くらいまで)のお子さまを対象としたチャイルドシート [i-Size 汎用型 ISOFIX / i-Size ブースターシート] です。

上記身長範囲外のお子さまにはご使用いただけません。

・ISOFIX 型チャイルドシートの取付けを許可された座席に取付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全てのお車に取付けられるものではありません。

車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。

車種適合表につきましては下記 URL から確認してください。




<http://www.nebio.jp/childseat/>

※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

安全にご使用いただくために

危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- ・使用条件に適合しないお子さまや、取付けのできない座席などでは使用しないでください。
- ・車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。
- ・お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったたり、中腰にならないよう注意してください。
- ・ベビーシートモード・チャイルドシートモードでご使用の場合は、肩ベルトと腰ベルトが正しく装着され、左右のバックルタンクが差し込まれていることを確認してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合は、お子さまを座らせた時に、車両側のシートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合は、必ず肩ベルトガイド・腰ベルトガイドを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩から外れて危険です。
- ・車に取付ける際は、車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- ・車に取付ける際は、必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。ジュニアシートモードは車両シートベルトのみでも取付けが可能ですが、ひもなどでは固定しないでください。

緊急時

緊急時は、保護者の方がバックル解除ボタンを押し、肩ベルト・腰ベルトを外してすみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。

警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX または車両シートベルトで固定してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。
- ・肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- ・チャイルドシートからの落下を防ぐため、車両シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤位置が確実に固定されるよう十分低い位置で装着してください。
- ・車両シートベルトに傷などがある場合は、その座席に取付けないでください。
- ・衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・お子さまがバックル解除ボタンを押ししてしまう可能性があります。バックルタンクがバックルから外れていないことを確認してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、肩ベルトガイドは肩と同じ位の高さになるよう調節し、車両シートベルトがお子さまの体にあうようにして、使用してください。
- ・チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- ・短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。



注意

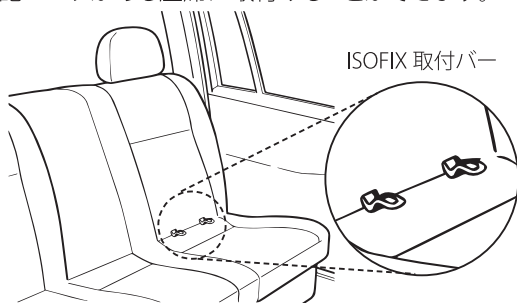
次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 直射日光があたると、本体やバックルタンクが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。本書に記載のない使い方をしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- お子さまだけで乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取替えたりしないでください(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けしないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。
- 座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。

本製品は i-Size 適合、ISOFIX 対応の表記や、下記マークがある座席に取付けることができます。

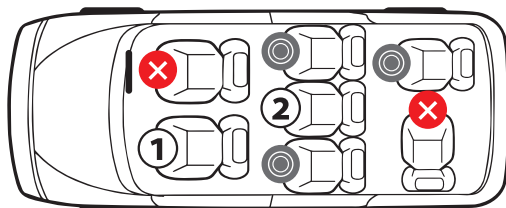


ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全てのお車に取付けられるものではありません。

本製品は [i-Size 汎用型 ISOFIX / i-Size ブースターシート] です。

本製品は車両の取扱説明書に表示されている i-Size 適合車両着席位置で使用するものとして UN 規則 NO.129 に従って許可されています。

- ・本製品の取付け方：前向き（進行方向）
本製品は以下の座席に取付け可能です。



- 正しい設置位置
- 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていない場合設置可能
- ② ISOFIX 取付けバーがある場合のみ設置可能

取付け方法	座席条件	使用
進行方向 (前向き)	前座席：エアバッグを装備していない	取付け条件が満たされれば、取付けは可能ですが、本製品は運転席より後ろの座席に取付けることをお奨めします。 やむを得ず、前座席に取付ける場合は座席シートを一番後ろに下げた状態で取付けてください。
	前座席：エアバッグを装備している	
	後部座席の両側の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	後部座席の真ん中の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	進行方向に対して横向きの座席	取付け不可
	進行方向に対して後ろ向きの座席	取付け不可

シートベルトの条件



注意

シートベルトの種類により取付けができない場合があります。シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。

本製品は UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、または他同等の基準を満たしている 3 点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。



使用可能なシートベルト

- ・ 3 点式手動調整シートベルト
- ・ 3 点式巻取り装置付きシートベルト



警告

ベビーシートモード・チャイルドシートモードで取付ける際は、必ず、ISOFIX とサポートレッグで固定してください。ジュニアシートモードは車両シートベルトのみでも取付けが可能ですが、ひもなどでは固定しないでください。必ず車両シートベルトで固定してください。



ポイント

車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項
種類	特徴	
ELR 付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出入りでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされます。	ゆっくりシートベルトを引き出してください。
ALR/ELR 付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かない機構付きです。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトの ALR 機能を作動させないでください。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、ジュニアシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用をしないでください。

●フロントエアバッグ装備の座席。

※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。

●進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。

●座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。

●極端なバケットシート。

※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。

●シートベルトが付いていない座席。

●2点式シートベルトの座席。

●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

→車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。

●座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安定になる座席。

●シートベルトに損傷がある座席。

●座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント

より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。



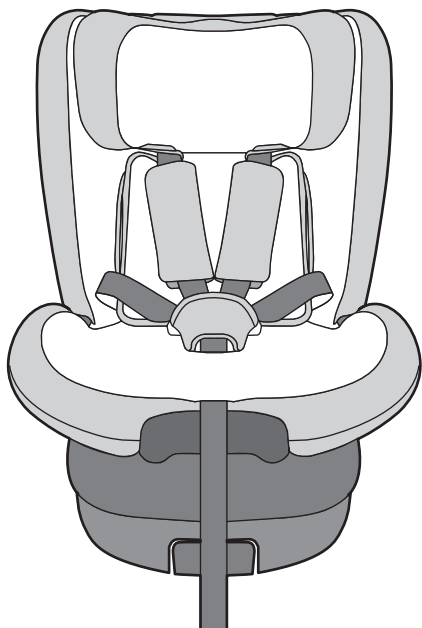
注意

本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

梱包内容

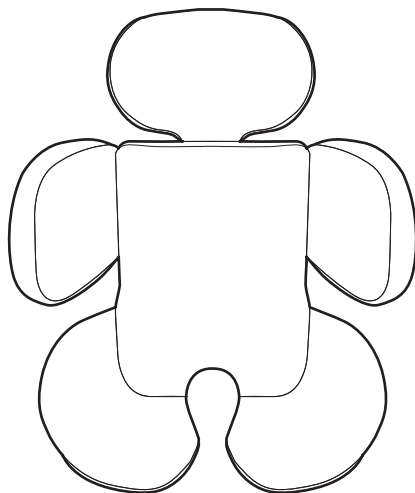
生産工程上、小さな樹脂片が本体内部に残り、傾けるとカラカラと音がある場合がありますが、使用・構造上の安全性に問題はありませぬ。安心してご使用ください。

本体



インナークッション

※本体に付属されています



ISOFIX キャップ × 2

※車両側の取付金具がシートに隠れて見にくい場合はキャップを使うことで取付けしやすくなります。

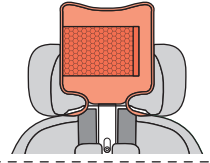
《5点式ハーネスとは》

【肩ベルト】・【腰ベルト】・【バックル】をまとめて5点式ハーネスと呼びます。

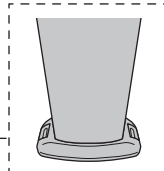
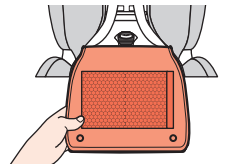
各部の名称



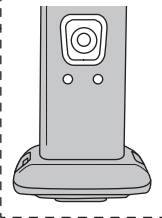
背もたれカバー(上)裏
取扱説明書・股あてパッド
収納ポケット



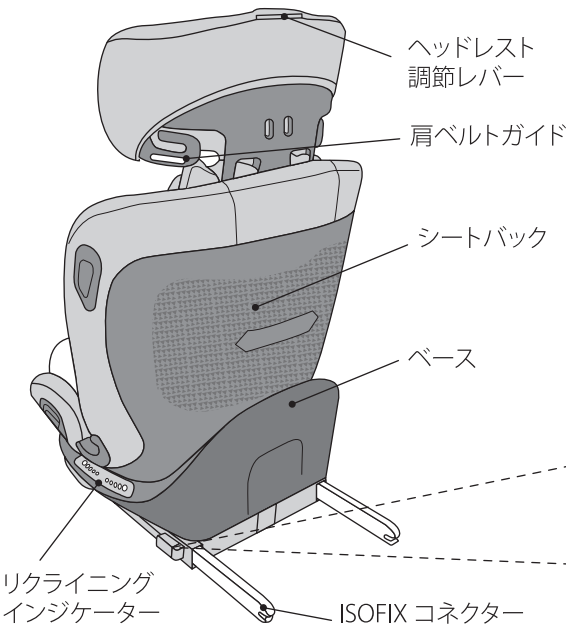
背もたれカバー(下)裏



サポートレッグ
インジケーター

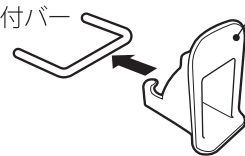


サポートレッグ
調節ボタン



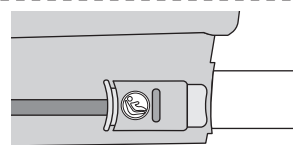
ISOFIX
取付バー

ISOFIX キャップ



車両側の取付金具がシートに隠れて見にくい場合は、キャップを使うことで取付けしやすくなります。

ISOFIX インジケーター



チャイルドシートの移動時の持ちかた

警告

- ・持ち運びの際は、周囲に注意し物などにぶつからないよう注意してください。
- ・回転レバー付近は持たないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

持ち運びの際は、【腰ベルトガイド付近】と【ベースの後方中心部分】を持ってください。



注意

上記以外の部品を持つと、破損や落下の事故につながるおそれがあります。






警告

お子さまを乗せた状態で、持ち運ばないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまの身長に合わせた使用方法

※本製品は 360 度回転する、子ども用拘束チャイルドシートです。

ECE R129/04 に合格

モード	ベビーシートモード	チャイルドシートモード	ジュニアシートモード	
使用の条件	身長：40～105cm 体重：18kg 以下	身長：76～105cm 体重：18kg 以下 月齢：15 ヶ月以上	身長：100～150cm	
使用の状態				
取付け方法	ISOFIX + サポートレッグ + 5 点式ハーネス		ISOFIX + 車両シートベルト	車両シートベルト
取付け方向	進行方向後向き ※身長 76cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。	進行方向前向き ※インナークッションは使用しないでください。	進行方向前向き	
	 警告	お子さまの月齢が 15 ヶ月を超え、尚且つ身長が 76cm 以上になるまでは、進行方向前向きで使用しないでください。		



危険

本製品のインナークッションは、誤った取扱いをすると本来の機能をはたさず大変危険です。
必ず本書の P24 (インナークッション) を確認し正しく使用してください。



注意

取外したインナークッションは車内に放置しないでください。
車内に転がって運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ISOFIX での取付け方法

取付ける前の準備

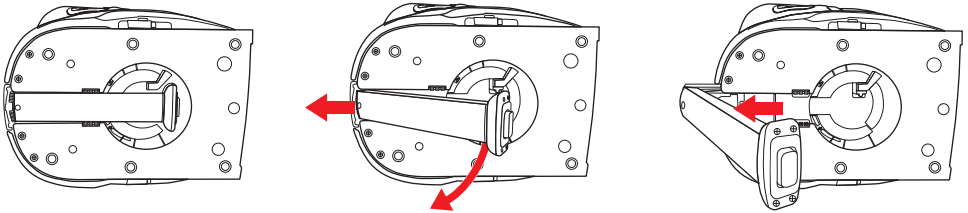
ベビーシートモード、チャイルドシートモードでご使用の際は、必ずサポートレッグをお使いください。



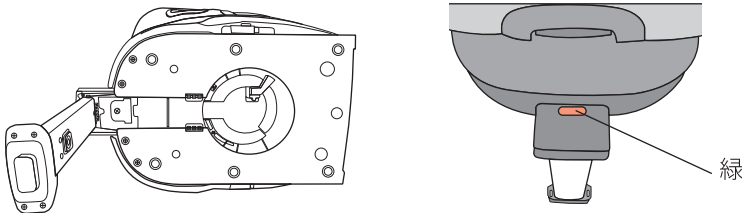
▶ 動画で解説
サポートレッグ
の取出し方法

サポートレッグの取出し方法

- ①周囲の安全を確認し、広いスペースに本体を横に寝かせてください。
- ②サポートレッグを起こしながら、サポートレッグベースを前方に引き出してください。



- ③サポートレッグが完全に起きた状態でサポートレッグベースが完全に引き出され、緑の表示が見える状態で固定されていることを確認してください。



注意

手や指などをはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。



ポイント

※サポートレッグの設置・調節は ISOFIX 取付け後にします。

車両側ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取付けられない場合は、車両側ヘッドレストを最上段に固定するか、車両側ヘッドレストを外してください。



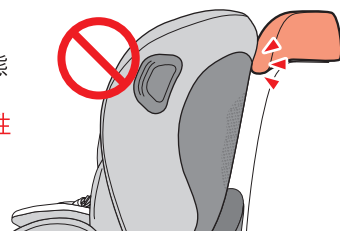
注意

取外したヘッドレストは車内に放置せず、トランクルーム等で保管してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

車両側のヘッドレストが本製品に干渉した状態で取付けないでください。
※本製品が確実に固定できず、衝突時の安全性に影響を及ぼすおそれがあります。

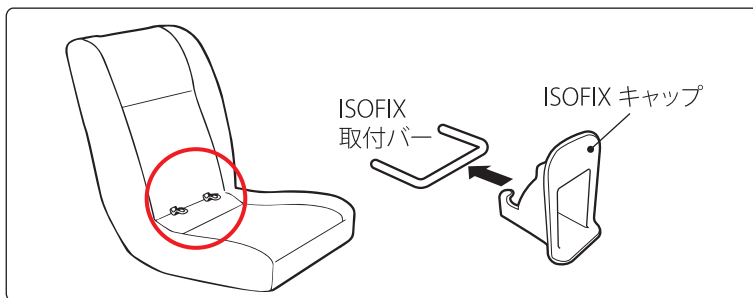


ISOFIX 取付け方法

①車両側の ISOFIX 取付けバーの位置を確認してください。



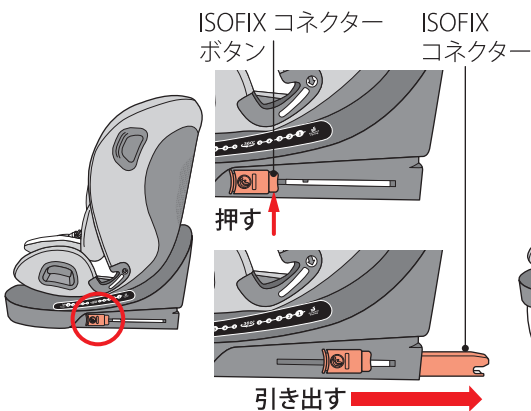
▶ 動画で解説
ISOFIX の
取付け方法



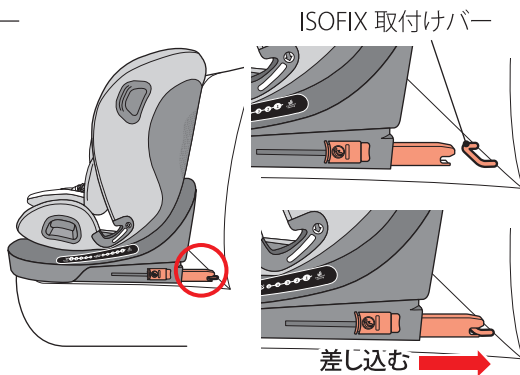
ポイント

ISOFIX 取付けバーが車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属の ISOFIX キャップを使用することでチャイルドシートが取付けやすくなります(図参照)。
※車のシートによっては ISOFIX キャップが取付けられない場合があります。
その場合は、ISOFIX キャップを使用せずにチャイルドシートを取付けてください。

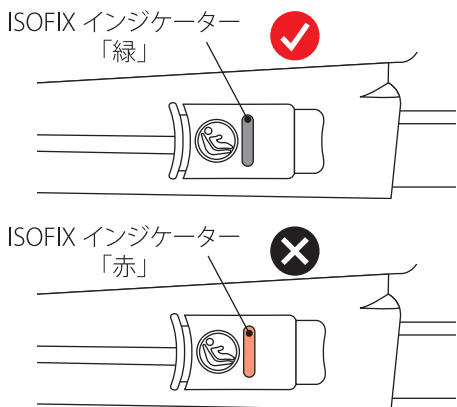
② ISOFIX コネクターボタンを押してコネクターを最大限まで引き出してください。



③ ISOFIX コネクターを車両側の ISOFIX 取付けバーに2本同時に「カチッ」と音がするまで真っ直ぐ差し込んでください。



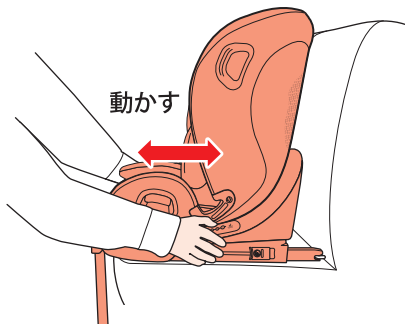
④ ISOFIX インジケーターが2本とも「緑」になっていることを確認してください。



⑤ 「カチッ」と音がなくなるまで車両シート側へ密着するようしっかり押し込んでください。



⑥ チャイルドシート本体の左右を持ち前後に動かして、車両シートに固定されているか確認してください。



警告

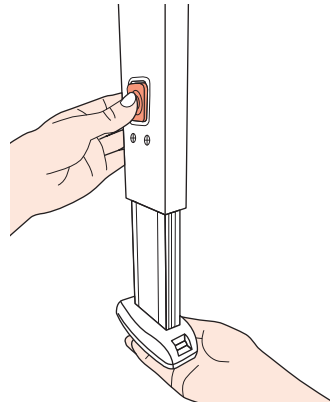
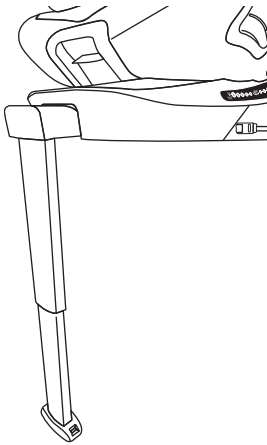
チャイルドシートの左右を持ちながら、チャイルドシート本体が車両背もたれに接するまで強く押し込んでください。※「カチッ」と音がなくなるまで車両シート側へしっかりと押し込む。

サポートレッグの設置・調節方法

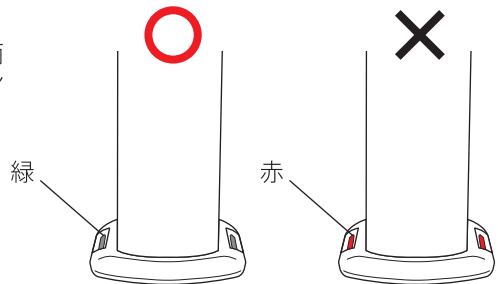


▶ 動画で解説
ISOFIX の
取付け方法

- ①サポートレッグの設置準備が出来ているか確認してください(P14 参照)。
- ②サポートレッグ調節ボタンを押しながら、もう片方の手でサポートレッグをのばしてください。



- ③車両の床面に接地するまでのばします。車両の床面に接地完了すると、サポートレッグインジケーターが「赤」→「緑」にかわります。



警告

必ずインジケーターが「緑」になるようサポートレッグをのばしてください。

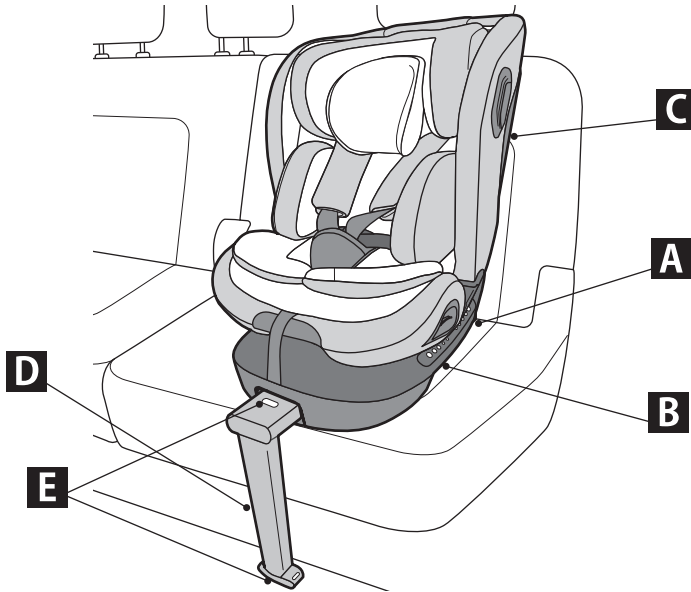


危険

安全のため、走行中にお子さまが乗っていない場合も、必ず ISOFIX や車両シートベルトで固定してください。

チェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■

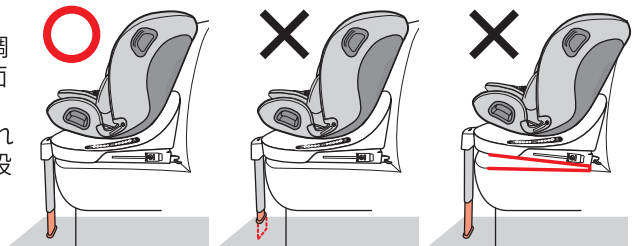


チェックリスト

- A** ISOFIX コネクターが車両側の ISOFIX 取付けバーに固定され、ISOFIX インジケーターが 2 本とも緑になっていること（「カチッ」と音がしなくなるまでしっかりと押し込む）。
- B** 本体底面が、しっかりと座面に接していること。
- C** 本体のシートバックが、車両背もたれにしっかりと密着していること。
- D** サポートレッグが完全に起きた状態で固定されていること。
- E** サポートレッグが床面に接地し、サポートレッグインジケーターが「緑」になっていること。

危険

サポートレッグを調節する際、本体底面は座面にサポートレッグは床面にそれぞれ接するように設置してください。



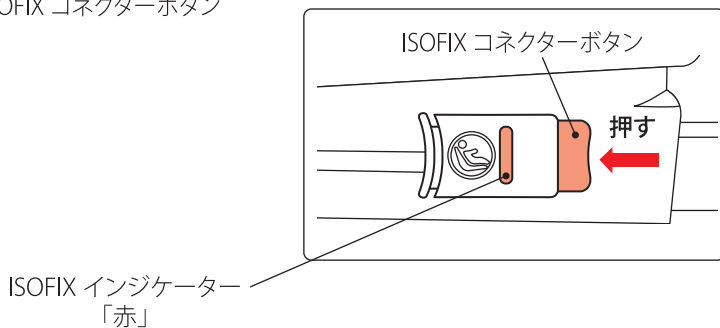
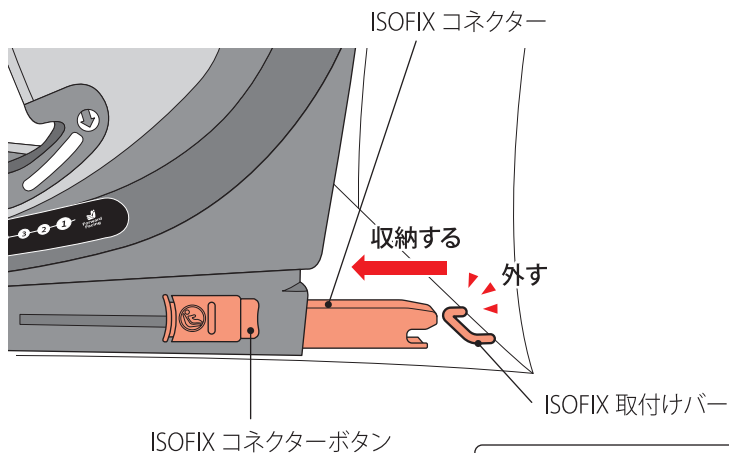
車両からの取外し方法


ISOFIX の取外し方法

- ①左右の ISOFIX コネクターボタンを押し、ISOFIX コネクターを車両 ISOFIX 取付けバーから外してください。
- ②ISOFIX コネクターボタンを押しながら本体側へスライドさせ、ISOFIX コネクターを収納してください。



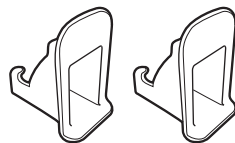
▶ 動画で解説
ISOFIX の
取外し方法



 **ポイント** ISOFIX のロックが解除されると、ISOFIX インジケーターが「赤」に変わります。

 **注意**

ISOFIX キャップはなくさないよう大切に保管してください。



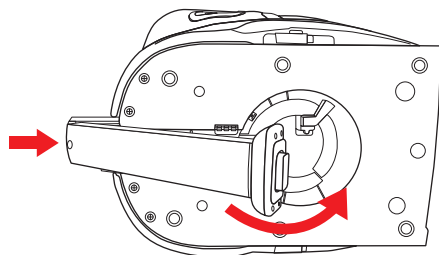
サポートレッグの収納方法



▶ 動画で解説

サポートレッグ
の収納方法

- ①サポートレッグの調節ボタンを押しながらサポートレッグを短くしてください。
- ②サポートレッグを少し折りたたんだ状態でサポートレッグベースを戻します。サポートレッグベースが収納された状態で、サポートレッグを完全に折りたたみ、本体に収納してください。



注意

手や指などをはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

リクライニングの操作方法

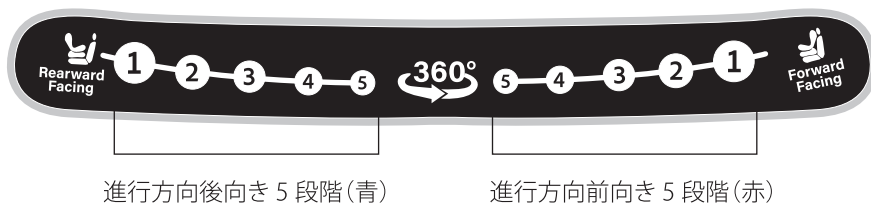
本製品はお子さまの成長に合わせて、【前向き 5 段階 (リクライニングインジケーター赤色表示)】【後向き 5 段階 (リクライニングインジケーター青色表示)】で角度を調節することができます。



▶ 動画で解説

リクライニング
の操作方法

【リクライニングインジケーター】



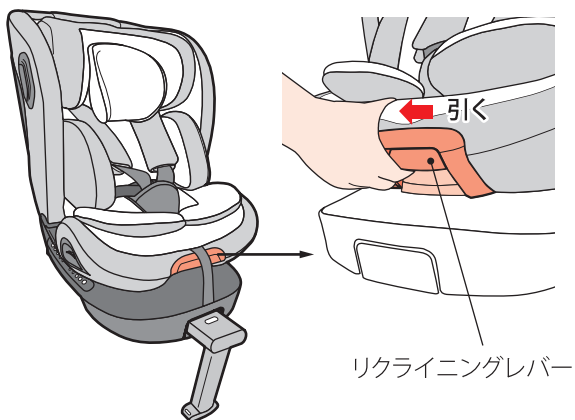
①座席前方の裏側にあるリクライニングレバーを手前に引きながらシートのリクライニング角度を調節してください。

<後向きでの使用>

後向きリクライニング角度表示（青）は、前向きリクライニング表示（赤）に対応しています。

一旦前向きの状態でリクライニングをお好みの位置（例：赤 5）に合わせてから、本体を後向きに回転させてください。

回転後は、自動的に進行方向後向き「青 5」の位置にセットされます。



警告

操作後、シートが固定されていることを確認してください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）

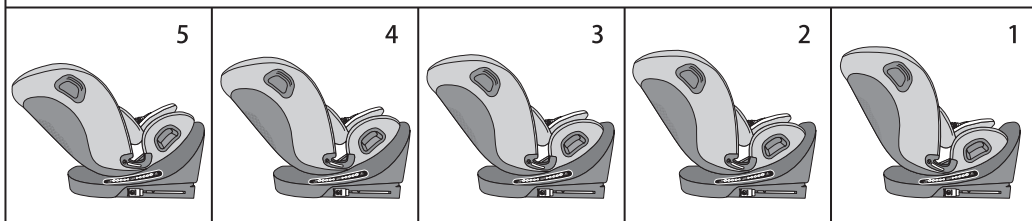


注意

- リクライニング操作時は、お子さまの指や手を近づけないよう十分注意してください。指や手はがさまれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。
- ゴミや飲食物が入ると故障の原因になります。

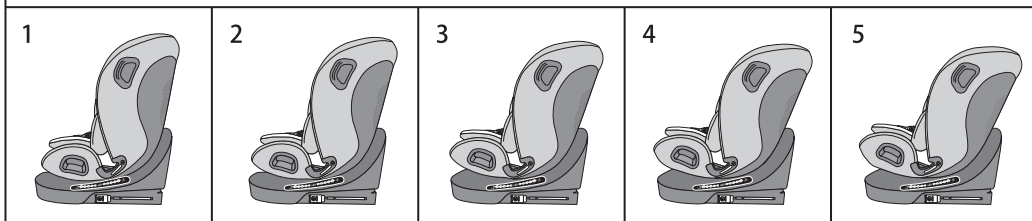
進行方向後向き

身長 40～105cm



進行方向前向き

身長 76～150cm

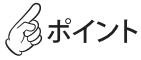


シートの回転方法

本製品はお子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転することができます。



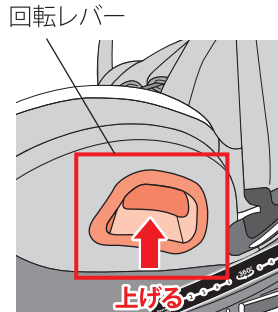
▶ 動画で解説
シートの
回転方法



ポイント

シートの回転時に車両シートが干渉して回転しづらい場合は車両のシートを干渉しない程度に倒してから回転してください。

- ①図のように、左右いずれかの回転レバーを上げながら座席を回転させてください。
- ②動き始めたら回転レバーから手を離し、「カチッ」と音がしロックされる位置まで座席を回転させてください。
- ③ロック音がし回転が完了したら、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。



⚠ 危険

- ・お子さまが乗った状態で回転される場合はゆっくりと回転させてください。
- ・進行方向後向き・進行方向前向きでの使用にはそれぞれ、身長制限があります。ご使用前に必ず条件を確認してください。

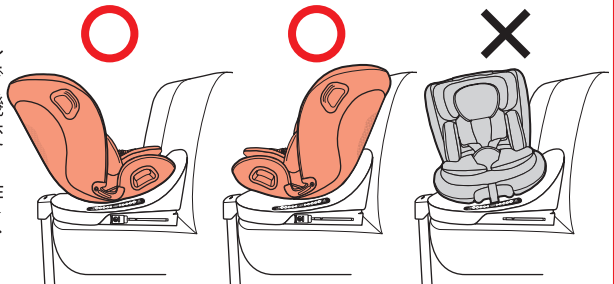


ポイント

90度回転(進行方向横向き)は、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。

⚠ 警告

- ・シートを横向きにしたまま走行しないでください。本来の機能をはたさず、大変危険です。
- ・走行中は回転操作を絶対にしないでください。



⚠ 注意

回転操作時はお子さまの指や手などを近づけないよう十分注意してください。指や手などがはさまれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。

バックルの取付け・取外し方法

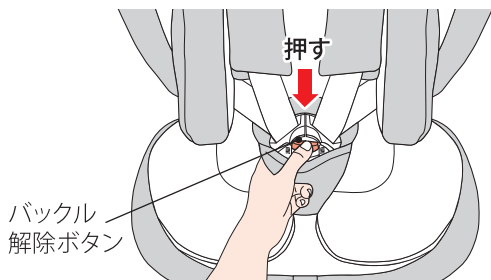


ポイント

- ・バックル解除ボタン（赤）はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。
- ・バックルタングは左右、組み合わせてからバックルに差し込んでください。組み合わせないと差し込めません。



動画で解説
バックルの
取付け・取外し方法



ポイント 肩ベルトを長めに引き出して
おくと作業がしやすくなります。

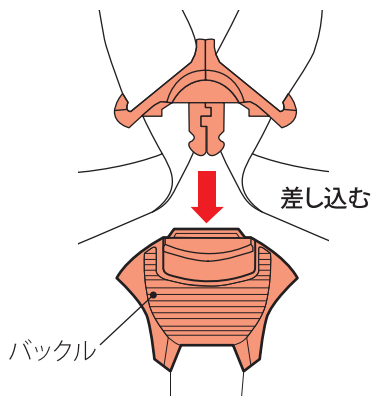
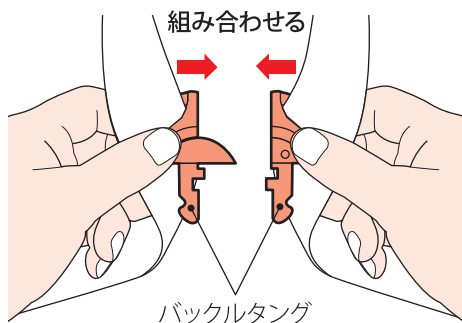
- ①バックル解除ボタン（赤）を押し、バックルタングを外してください。
- ②お子さまをチャイルドシートに深く座らせてください。
- ※インナークッションをご使用の際は、インナークッションにあわせてお子さまを深く座らせてください。
- ③お子さまの左右の腕を肩ベルトに通します。



注意

左右の肩ベルトがねじれていないことを確認してください。

- ④左右のバックルタングを組み合わせてください。
- ⑤組み合わせてから「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。



注意

バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まっていないか確認してください。

インナークッション



警告

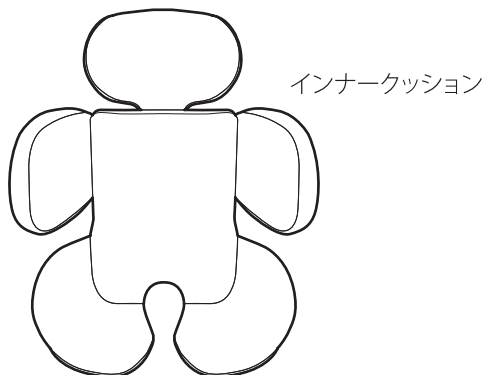
身長 76cm 未満のお子さまは、必ずインナークッションを使用してください。



警告

身長 76cm 以上のお子さまは、インナークッションを使用しないでください。

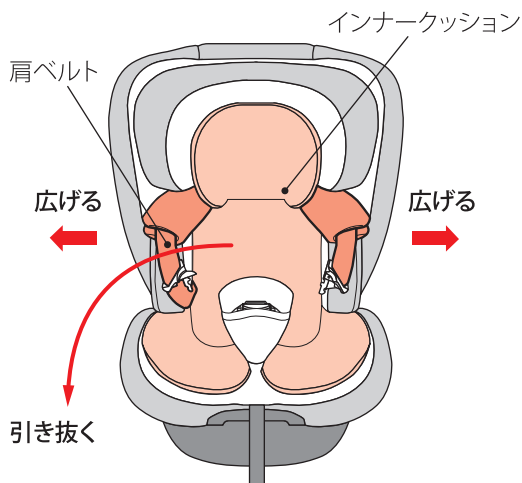
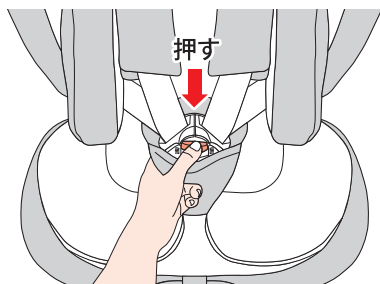
インナークッションの各部の名称



インナークッションの取外し方法

①バックル解除ボタン（赤）を押し、バックルタンクを外します。

②肩ベルトを外側へ広げ、インナークッションを引き抜いてください。



警告

インナークッションは必ず正しい向きで使用してください。向きが異なっていると、製品所定の安全機能を発揮できないおそれがあります。

ハーネスの調節方法



警告

- かさばった服を着せたまま、使用しないでください。
- 肩ベルトと腰ベルトを正しい位置に装着してください。



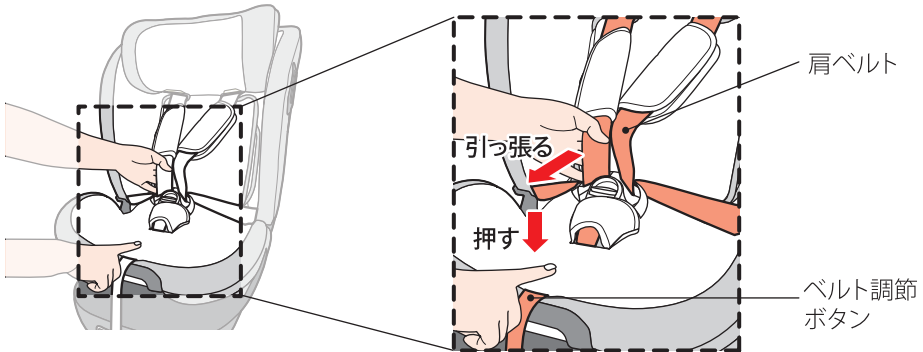
▶ 動画で解説
肩ベルトの
調節方法



ポイント 肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。

ハーネスをゆるめる方法

①ベルト調節ボタンを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。



ハーネスをしめる方法

①肩ベルト・腰ベルトにゆるみがないか確認し、調節ベルトを引っ張ってください。

※肩ベルトと腰ベルトのゆるみは大変危険です。お子さまと肩ベルトのすきまは、手のひらが入る程度に調節してください。



警告

- 必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- 肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安



▶ 動画で解説
ヘッドレストの
高さ調節



ポイント

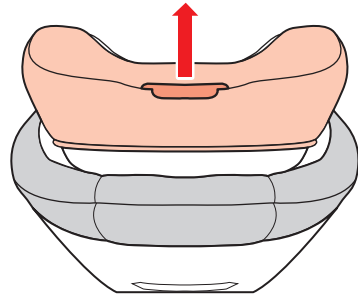
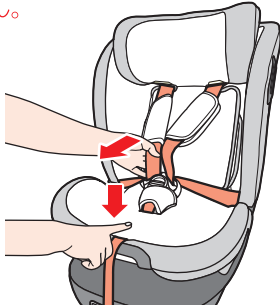
ヘッドレストの調節は肩ベルトをゆるめてから行う必要があります。
※肩ベルトの調節は、P25 を参照してください。

ヘッドレストの位置は 11 段階で調節可能です

①ヘッドレストを高くする準備として肩ベルトをゆるめてください(P25 参照)。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。

②ヘッドレスト調節レバーを引き上げて肩ベルトを正しい高さに調節してください。



③適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。

④ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。



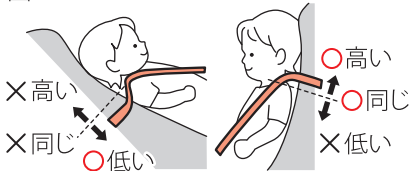
注意

ヘッドレストと肩ベルトの高さは進行方向によって異なります。肩ベルトは図 a の位置を目安に調節してください。

肩ベルト位置の目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。その目安はおさまの肩とヘッドレストのすきまに指一本くらいとなります。

図 a



ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40 ~ 105cm まで」



▶ 動画で解説
ベビーシートモード
の使用方法



警告

お子さまの月齢が【15 ヶ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になるまでは、必ず進行方法後向きで使用してください。

使用条件

- ・ お子さまの身長が 76cm になるまでは必ず進行方向後向きで使用してください。
- ・ お子さまの体格が合えば、身長 105cm まで進行方向後向きで使用可能です。
- ・ 身長 76cm 未満のお子さまは「全てのインナークッション」を使用してください。
- ・ 身長 76cm 以上のお子さまはインナークッションを使用しないでください。

お子さまを乗せる前の準備



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ISOFIX コネクターは「緑」の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P15 参照)
- サポートレッグが正しく取付けできていること。
(サポートレッグの設置・調節方法 P17 参照)
- リクライニングの角度は
【進行方向後向き(リクライニングインジケーター表示青 1~5)】になっていること。
(リクライニングの操作方法 P20 参照・シートの回転方法 P22 参照)

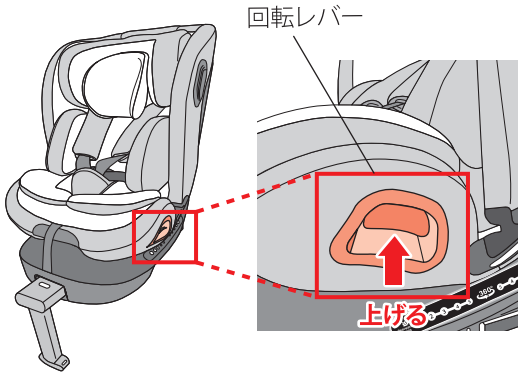


警告

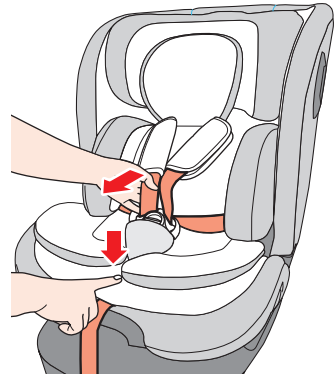
お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの乗せかた

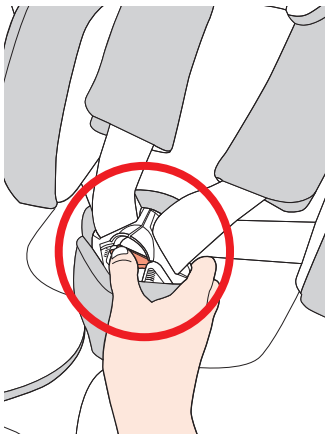
① お子さまを乗せやすくするため、必要に応じて乗せやすい方向へチャイルドシートを回転させてください(P22 参照)。



② 肩ベルトをゆるめてください。
※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P25 参照)。



③ バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタンクを外してください(P23 参照)。

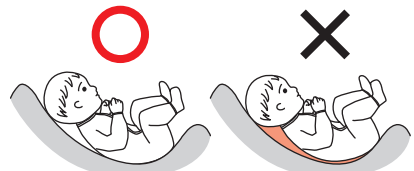


④ お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。



警告

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが本製品より飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず正しい姿勢で乗せてください。



- ⑤左右の肩ベルトにねじれがないかを確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。
 ※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。



ポイント バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。



警告

- ・バックルタングを差し込んだ際、抜けないか必ず確認してください。
- ・バックルタングを差し込んでも「カチッ」と音がしない場合は、絶対に使用せず、当社まで連絡してください。

肩ベルトの高さ



警告

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。
 お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P26 参照)。

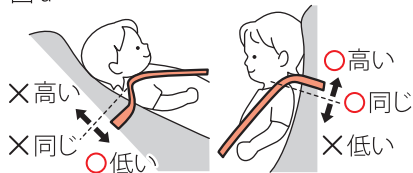
- ①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。
 ※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。



警告

進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。
 ※お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

図 a



注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

- ①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P25 参照)。



⚠ 注意

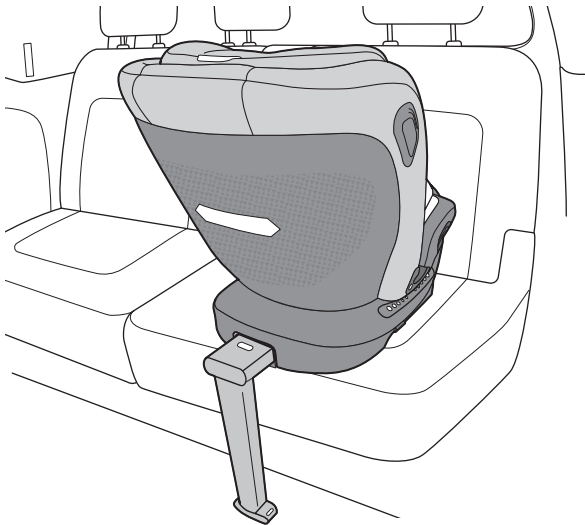
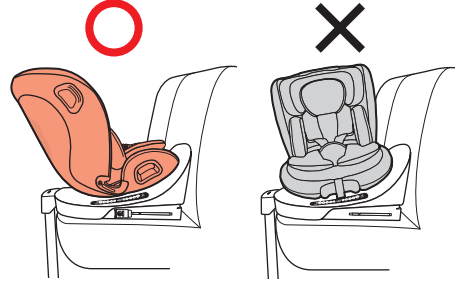
調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

シートの回転

- ①チャイルドシートを進行方向後向きに回転させ、固定してください(P22 参照)。
②回転完了後、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。

⚠ 危険

- ・進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。
- ・走行中は必ず【進行方向後向き】で使用してください。

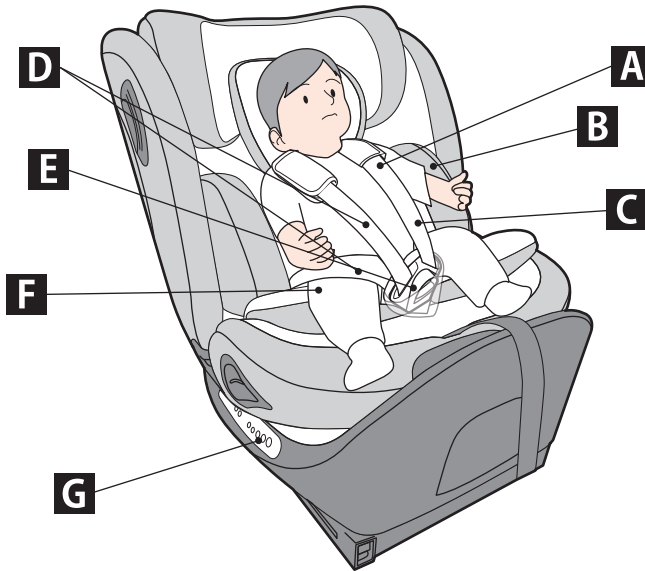


⚠ 警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- B** インナークッションが正しく取付けられていること。
- C** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- D** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- E** 左右のバックルタンクが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれていること。
- F** お子さまが正しい位置で座っていること。
- G** リクライニング進行方向後向き
(リクライニングインジケーター表示青1～5) になっていること。



危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも低い位置で使用してください。お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

身長 76cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。

チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 76 ~ 105cm まで」

警告

お子さまの月齢が【15 ヶ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になってから【進行方向前向き】で使用してください。身長 100cm 以下のお子さまは必ずバックルを使用してください。



動画で解説
チャイルドシートモード
の使用方法

使用条件

- ・お子さまの身長が 76cm 以上であること。
- ・「インナークッション」は使用しないでください。
- ・身長 100cm 以下のお子さまは必ずハーネスを使用してください。

お子さまを乗せる前の準備

警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

①本製品が正しくお車に取付けてできているか確認。

□ISOFIX コネクターは「緑」の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P15 参照)

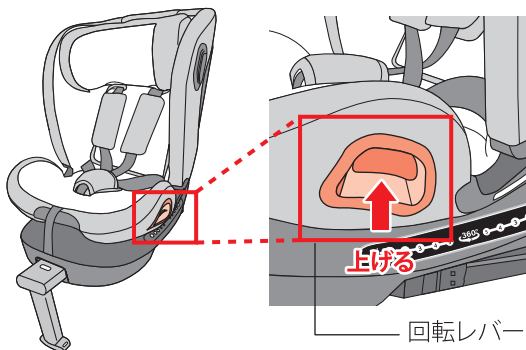
□サポートレッグが「緑」の表示で、正しく設置できていること。
(サポートレッグの設置・調節方法 P17 参照)

警告

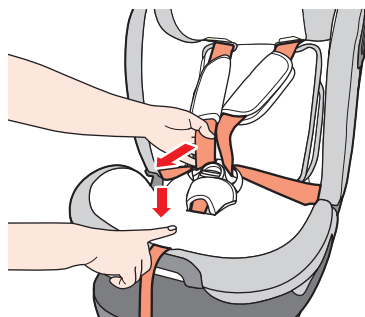
お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの乗せかた

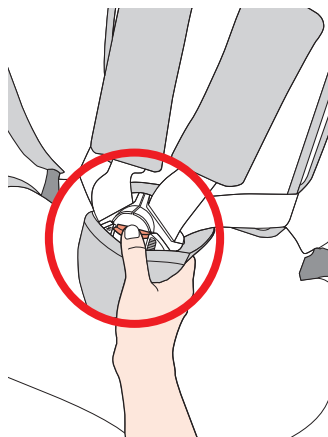
①お子さまを乗せやすくするため、必要に応じて乗せやすい方向へチャイルドシートを回転させてください。(P22 参照)。



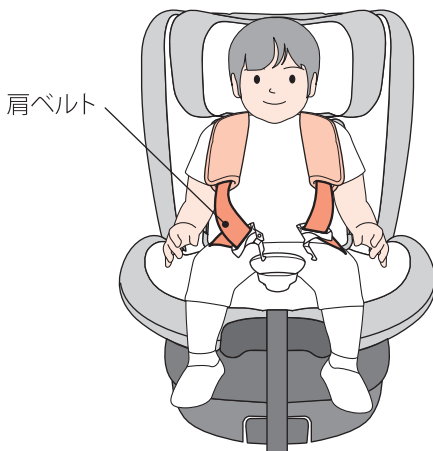
②肩ベルトをゆるめてください。
※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません (P25 参照)。



③バックル解除ボタン (赤) を押し、バックルタングを外してください(P23 参照)。



④お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。

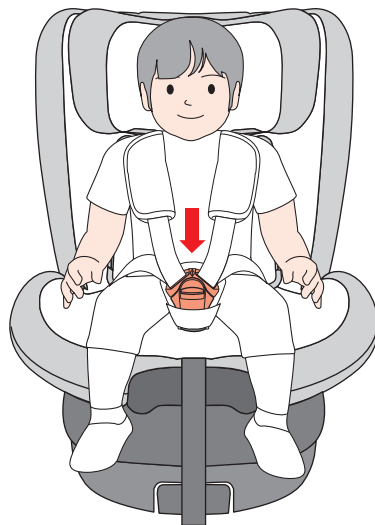


警告

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが本製品より飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず正しい姿勢で乗せてください。

⑤左右の肩ベルトにねじれがないかを確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。



ポイント バックル解除ボタン (赤) はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。



警告

・バックルタングを差し込んだ際、抜けないか必ず確認してください。
・バックルタングを差し込んでも「カチッ」と音がしない場合は、絶対に使用せず、当社まで連絡してください。

肩ベルト高さ

⚠ 警告

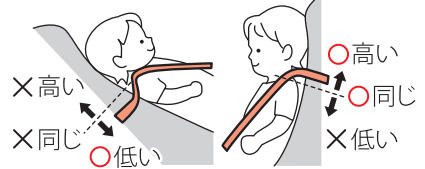
肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P26 参照)。

- ①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。
※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。

⚠ 警告

進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。
※お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

図 a



⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

- ①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P25 参照)。



⚠ 注意

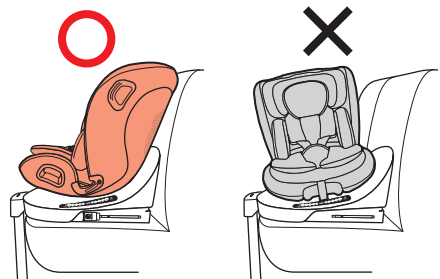
調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

シートの回転

- ①チャイルドシートを進行方向前向きに回転させ、固定してください(P22 参照)。
②回転完了後、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。

⚠ 危険

- ・進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。
- ・走行中は必ず【進行方向前向き】で使用してください。



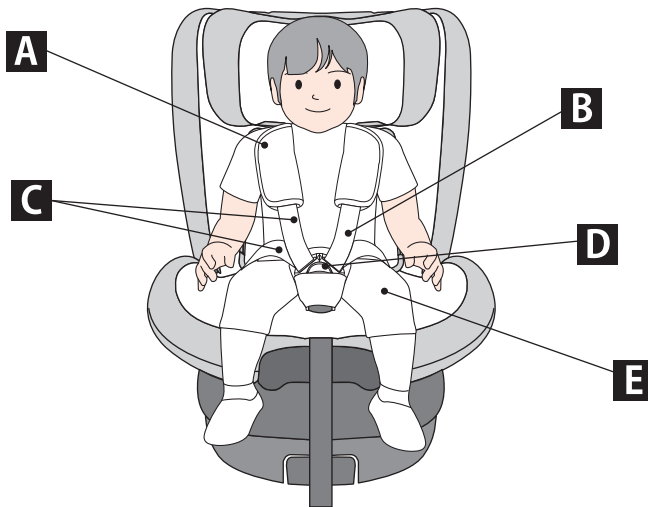


お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。

※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- B** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- C** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- D** 左右のバックルタングが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれていること。
- E** お子さまが正しい位置で座っていること。

⚠ 警告

バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように、固くしておりますが
お子さまが成長すると、自身で外してしまうおそれがあります。バックルは絶対に
触ったり外さないよう、注意してください。

⚠ 注意

お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてく
ださい。

⚠ 危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも高いまたは同じ位置で使用してください。
お子さまの肩より低い位置で使用されると、装着時、不快になったり、衝撃時、肩
ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

インナークッションは使用しないでください。

ジュニアシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 100 ~ 150cm まで」



警告

身長 100 ~ 150cm くらいのお子さまであること。

※身長 100cm 以下のお子さまは、必ず 5 点式ハーネスで拘束する「チャイルドシートモード」で使用してください。

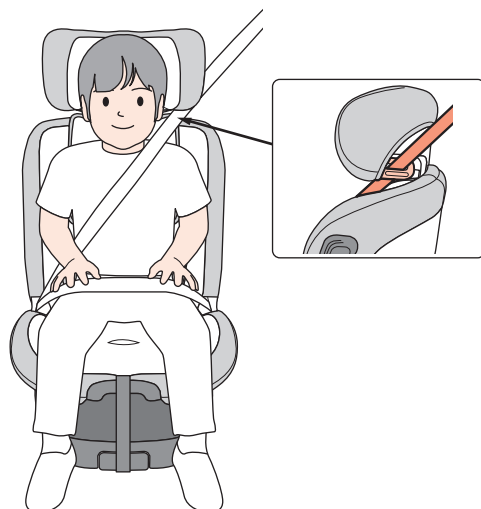
車両への取付け方法

ジュニアシートモードはお車の座席に合わせて、下記のどちらかの方法で取付けてください。

車両シートベルト+ISOFIX



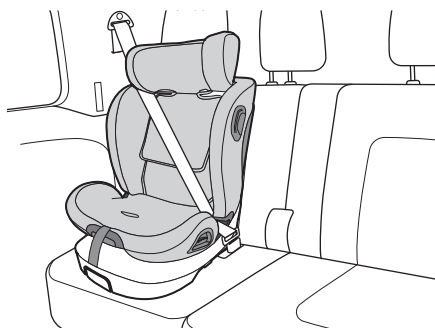
車両シートベルト



警告


お子さまが乗っていない場合でも本製品を車両シートベルトで固定してください。

※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。





ISOFIX を使用しない場合には、ISOFIX コネクタは一番縮めた状態でご使用ください。ISOFIX コネクタが突出した状態で使用すると車両シートを傷つけてしまう可能性があります。

ジュニアシートモードへの準備

 **ポイント** 「インナークッション」は使用しないでください。

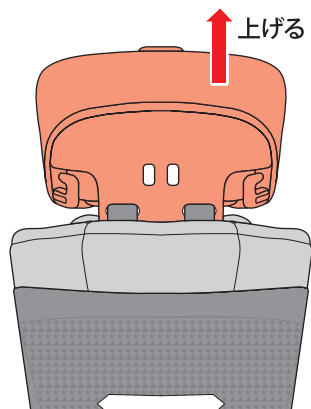
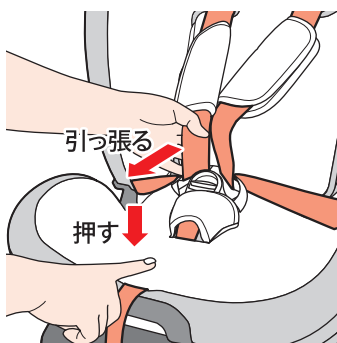


 **動画で解説**
ジュニアシートモード
への準備

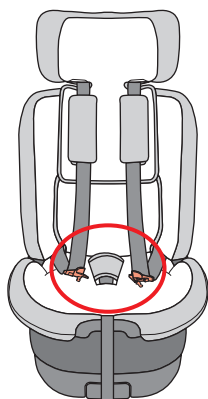
 **ポイント** 肩ベルトを長めに引き出しておくと作業がしやすくなります。

肩ベルト・バックルの収納

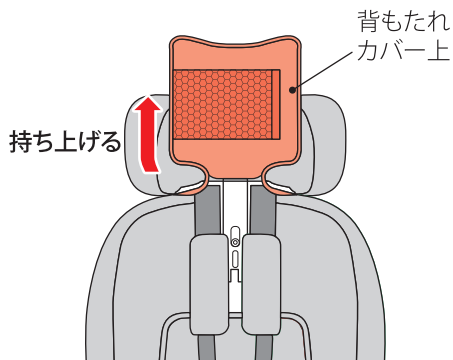
- ①肩ベルトをゆるめてください。※肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません(P25 参照)。 ②ヘッドレストを一番高い位置まであげてください。



- ③バックルを解除し、股あてパッドを外してください。 ④背もたれカバー上を持ち上げてください。



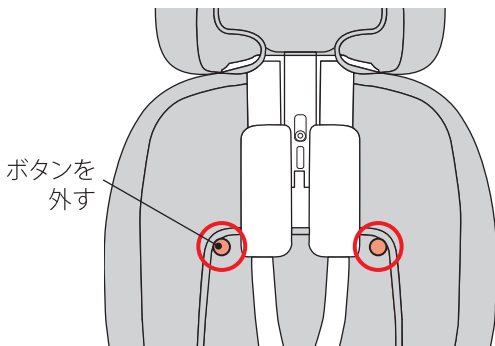
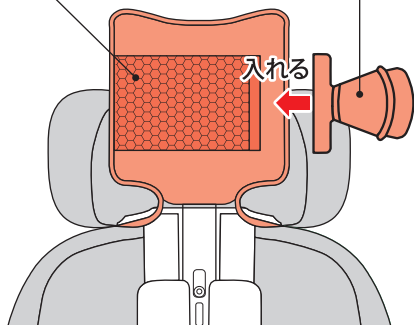
股あてパッド



⑤ 背もたれカバー上裏の収納ポケットに股あてパッドを入れてください。

⑥ 背もたれカバー下 2 箇所のボタンを外してください。

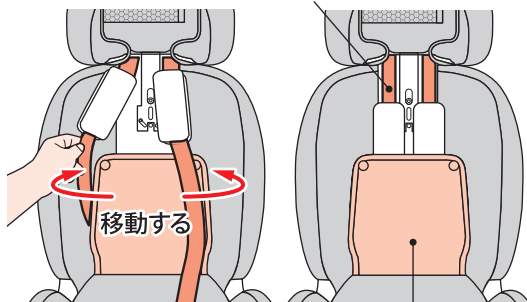
収納ポケット 股あてパッド



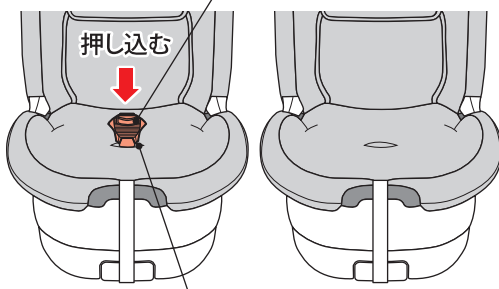
⑦ 肩ベルトを背もたれカバー下の後ろに移動させてください。

⑧ バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。

肩ベルト



バックル

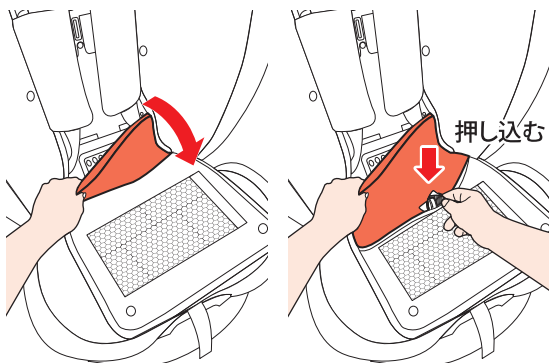
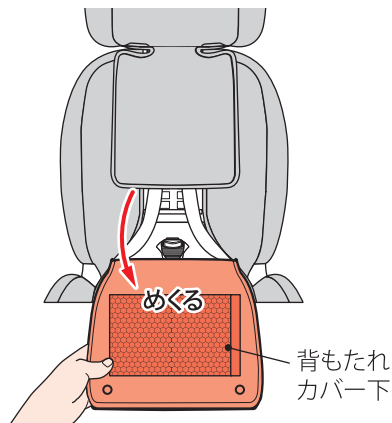


背もたれカバー下

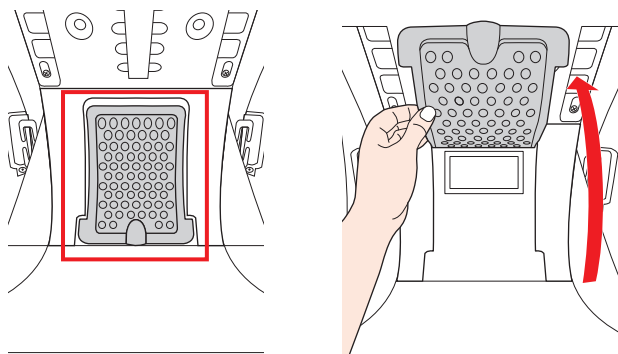
隙間

⑨ 背もたれカバー下を手前にめくってください。

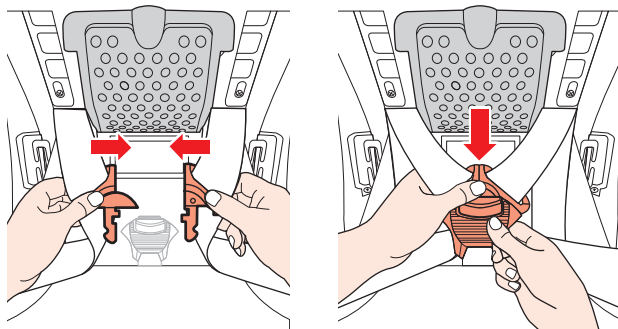
⑩ クッションフォームを手前にめくり、バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。



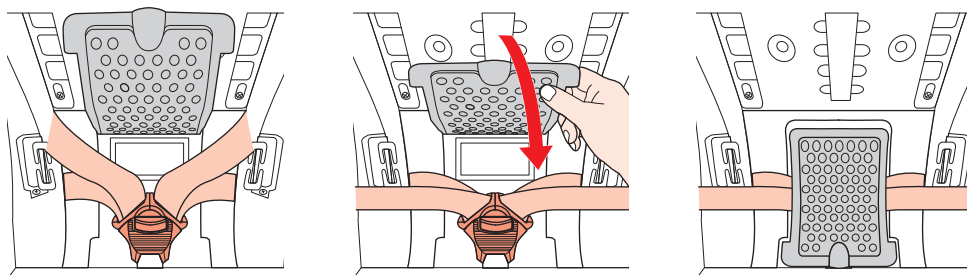
⑪座面カバーの下にあるバックル収納ボックスを開けてください。



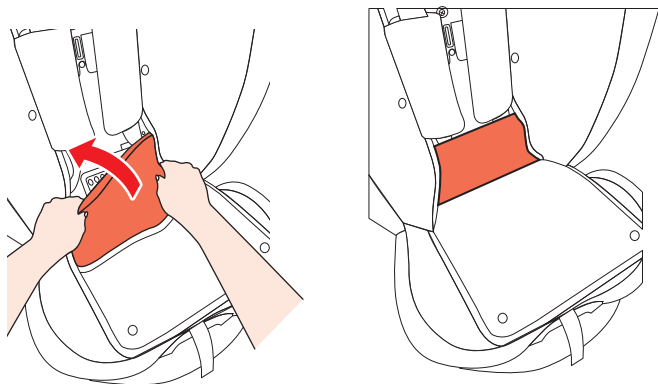
⑫バックルタングを合わせて、バックルに差し込んでください。



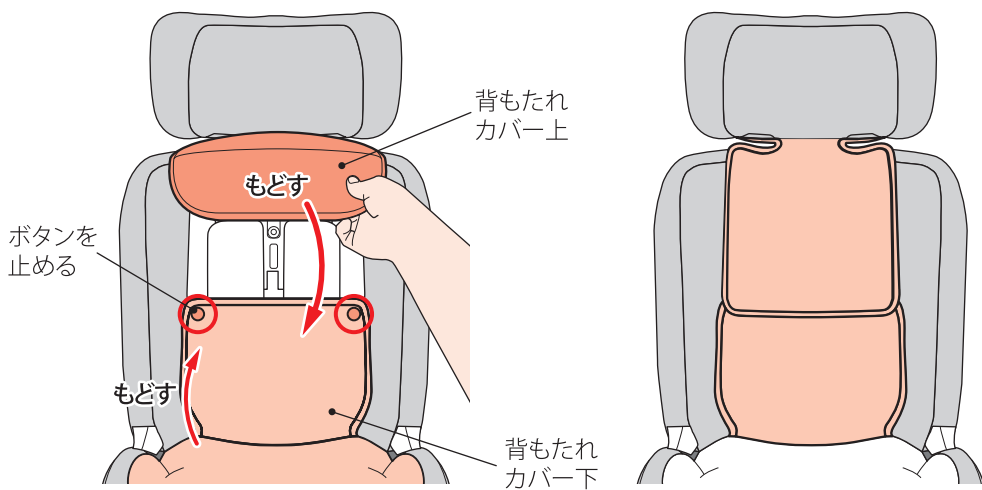
⑬収納ボックスにバックルを収め、収納ボックスを閉めてください。



⑭クッションフォームを元の位置に戻してください。



⑮背もたれカバーを下、上の順にもとの位置にもどし、ボタンを止めてください。



ジュニアシートモード (ISOFIX + 車両シートベルトまたは車両シートベルトのみ)



警告

ジュニアシートモードでは【サポートレッグは使用しません】サポートレッグは収納してください。



動画で解説
ジュニアシートモード
の使用方法



警告

ジュニアシートモードは、お子さまの身長が【100cm】以上になってから使用してください。※身長100cm以下のお子さまは、必ず5点式ハーネスで拘束する「チャイルドシートモード」で使用してください。

使用条件

- ・お子さまの身長が100cm以上であること。
- ・身長100cm以下のお子さまは、必ず5点式ハーネスを使用してください。

お子さまを乗せる前の準備



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ISOFIX + 車両シートベルト固定の場合は、ISOFIX コネクターは「緑」の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P15 参照)
- 5点式ハーネスを収納していること。
(ジュニアシートモードへの準備 P38 参照)
- ※【肩ベルト・腰ベルト・バックル】をまとめて5点式ハーネスと呼びます。
- ヘッドレストを一番高い位置に調整していること。



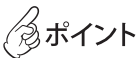
警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX と車両シートベルト、または車両シートベルトで固定してください。※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調整をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調整をおこなってください。

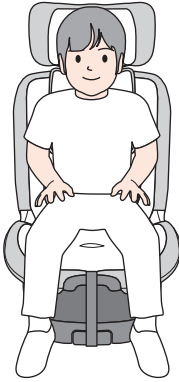


ポイント

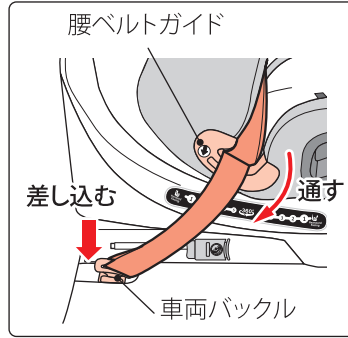
ジュニアシートモードでは、本製品の5点式ハーネスは使用せず、車両シートベルトでお子さまを拘束します。
(肩ベルト・バックルの収納 P38 参照)

お子さまの乗せかた

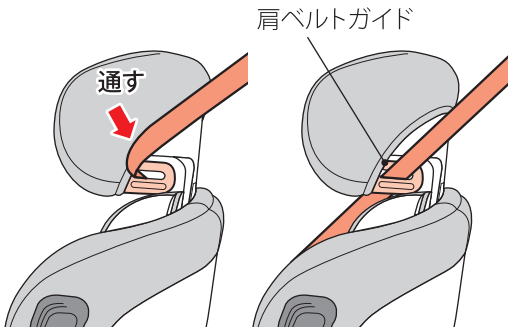
①お子さまを深く座らせてください。



②車両シートベルト（腰ベルト）が腰ベルトガイドを通るようにして、車両バックルに差し込んでください。

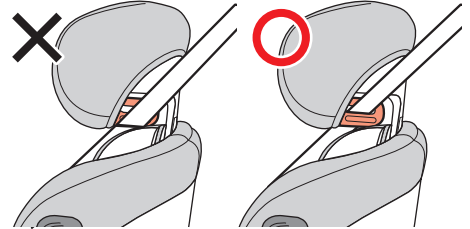


③車両シートベルトを肩ベルトガイドの切り口に通してください。

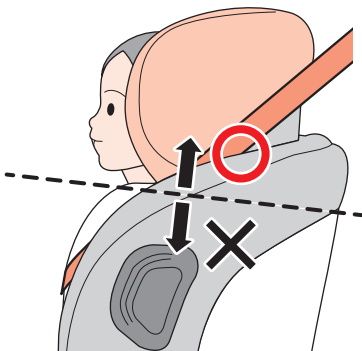


警告

車両シートベルトは必ず、肩ベルトガイドの中を通してください。



④ヘッドレストの高さ調節で、車両シートベルトをお子さまの肩と同じか、肩より高い位置にしてください。



危険

- 車両シートベルト（肩ベルト）がねじれていないことを確認してください。
- 肩ベルトガイドはお子さまの肩と同じ位の高さにしてください。

警告

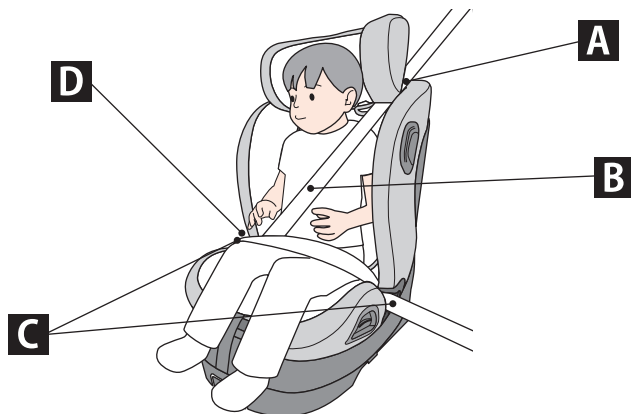
走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際は、お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。

危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり、外さないよう注意してください。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** ヘッドレスト・車両シートベルトの高さが正しい位置に調整され、車両シートベルトが、肩ベルトガイドの中を通過していること。
- B** 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- C** 車両シートベルト（腰ベルト）が左右の腰ベルトガイドを通過していること。
- D** 車両シートベルトが車両バックルに確実に差し込まれていること。



警告

お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを確認してください。



警告

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったりしないよう、注意してください。



警告

お子さまの肩が、肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、身長が適応範囲内でも、本製品の使用を中止してください。



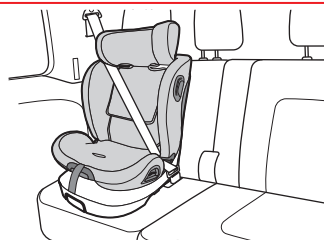
警告

ジュニアシートモードではサポートレッグは使用しません。折りたたんで本体ベース裏に収納してください。




警告


お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX と車両シートベルト、または車両シートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



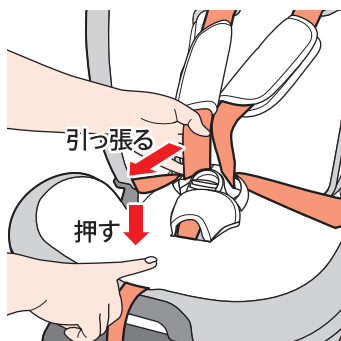
シートカバーの取外し方法

 **ポイント** インナークッションを取外してから行ってください。

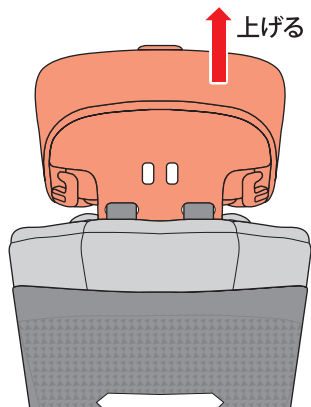


 **動画で解説**
シートカバーの
取外し方法

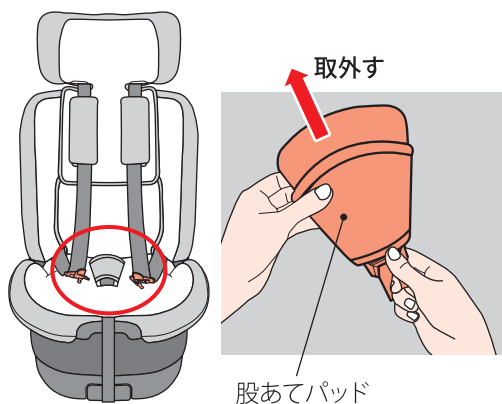
①肩ベルトをゆるめてください。



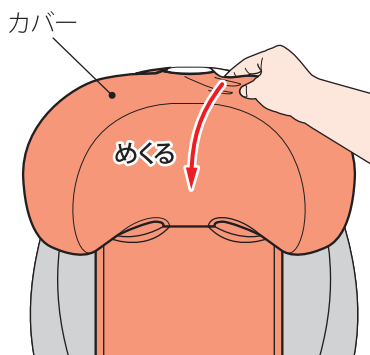
②ヘッドレストを一番高い位置まであげてください。



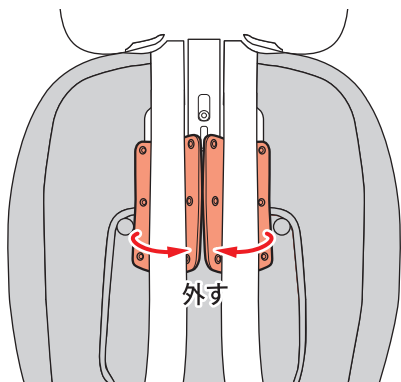
③バックルを解除し、股あてパッドを取外してください。



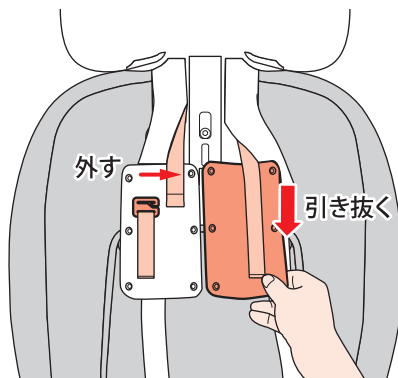
④ヘッドレスト背面からカバーをめくり上げてください。



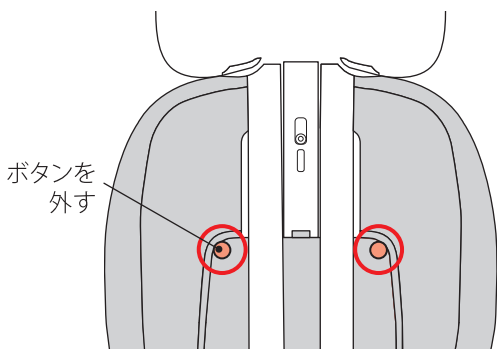
⑤肩ベルトパッドのボタンを外します。



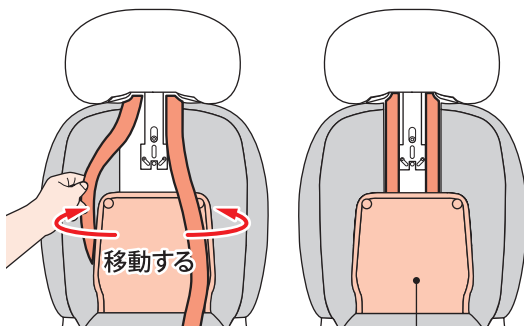
⑥左右いずれかの肩ベルトパッドを金具から外し、もう片側の肩ベルトパッドを引き抜きます。



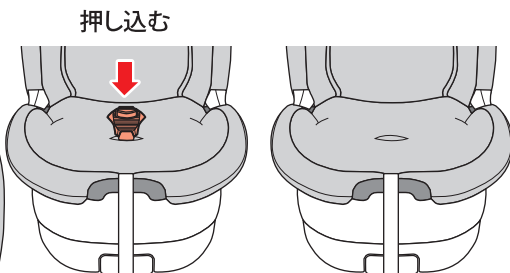
⑦背もたれカバー下2箇所のボタンを外してください。



⑧肩ベルトを背もたれカバー下の後ろに移動させてください。

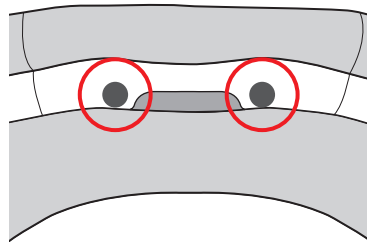
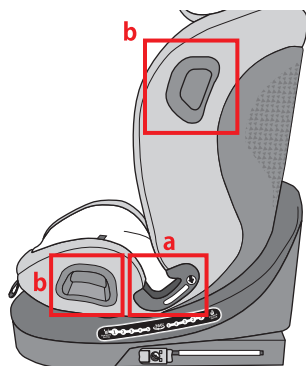


⑨バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。

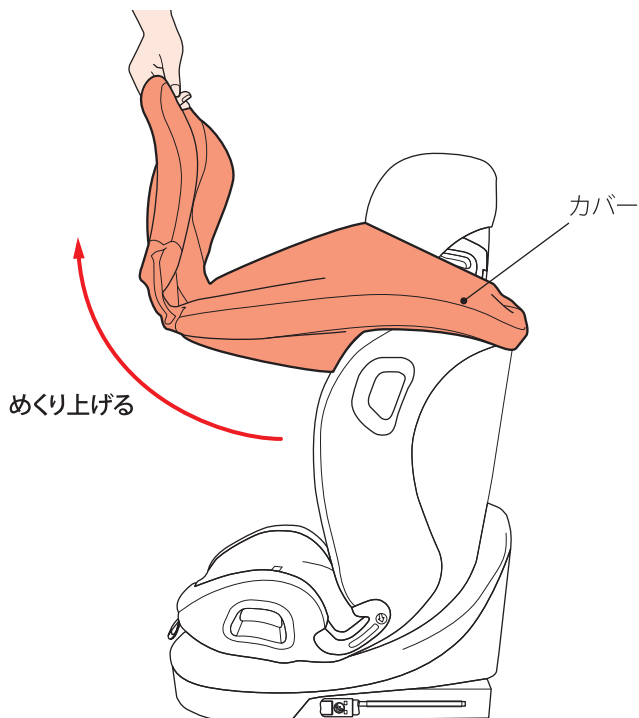


⑩腰ベルトガイド (a)、回転レバー・サイドインパクトプロテクター (b) のまわりからゆっくりカバーを外してください (左右ともに)。

⑪ヘッドレストをいったん下げ、背もたれ上部のボタンを外してください。



⑫カバーを上方向にめくり上げるように外してください。



⚠ 注意

カバーを取外す際、無理に引っ張らないでください。カバーが破れる可能性があります。

シートカバーの取付け方法


シートカバーの取付けは、取外しの逆手順となります。



注意

シートカバーを取外した状態で使用しないでください。




 動画で解説
シートカバーの
取付け方法

インナークッションの取付け方法

インナークッションの取付けは、取外しの逆手順となります。



 動画で解説
インナークッションの
取付け方法

お手入れ方法

本体

- ・固くしぼった布で水ぶきしてください。
- ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
- ・水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

各シートカバーの洗濯方法



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



警告

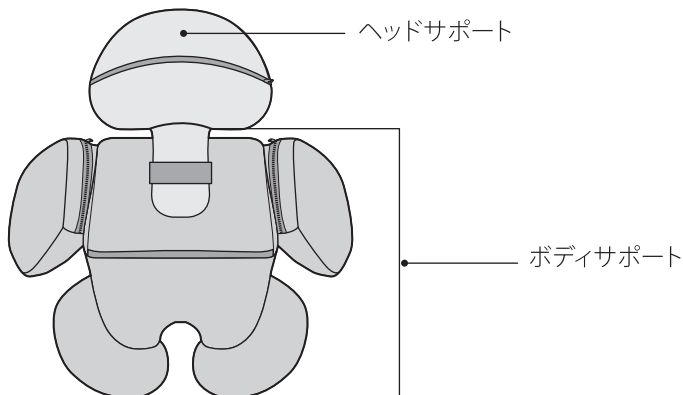
中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。本体や、布などを痛めるおそれがあり大変危険です。

■ インナークッション

クッションを取出した後のインナークッションカバーは選択可能です。
カバーが縮む可能性がありますので、必ず手洗いでお手入れしてください。

□ 洗濯方法

- ①ヘッドレスト背面、両サイド背面のファスナーを開け、クッションの中材を取出してください。
- ②座面部背面のスリットからクッション中材を取出してください。



注意

クッション中材を取出す際は、破れないようご注意ください。



注意

- ・クッション中材は洗濯できませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- ・クッション中材は必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

□ 洗濯方法



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

カバー部分のみ洗濯可能です(必ずボディサポートのクッションを取出してから洗濯してください)。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。



注意

- ・洗濯機は使用しないでください。
- ・洗濯時は必ずクッション中材を取出してから洗濯してください。

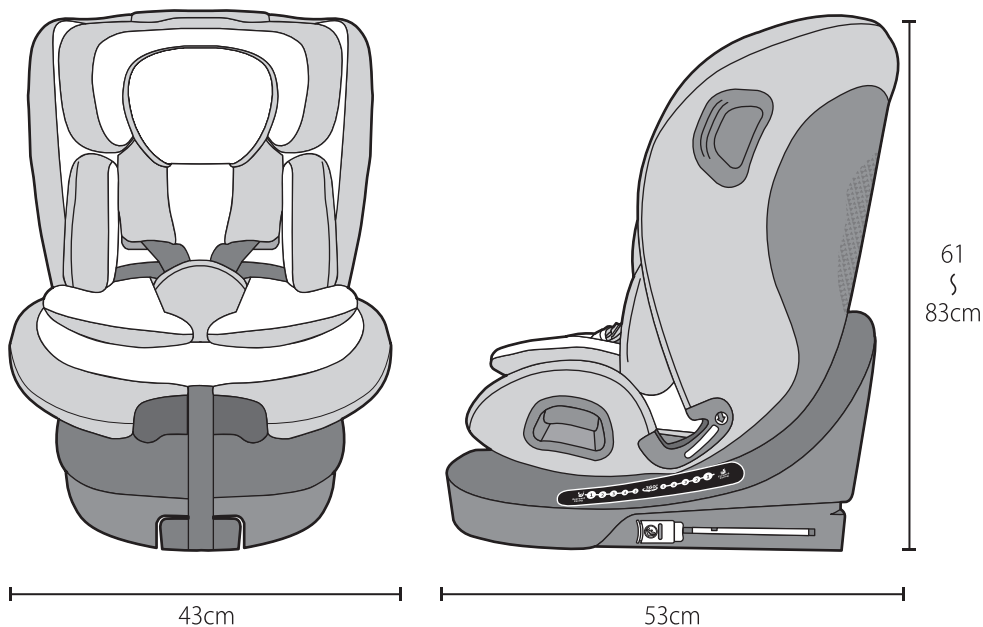
製品情報

本体サイズ

奥行き：約 53cm

幅：約 43cm

高さ：約 61～83cm



材質

本体：HDPE(高密度ポリエチレン)、PP(ポリプロピレン)

カバー：PE(ポリエステル)

インナークッション：PU(ポリウレタン)

サポートレッグ：アルミ

保管方法

- ・安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- ・お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- ・本製品に重いものを置かないでください。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- ・衝突事故で本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。